

より賢く よいかっこよく ～「安心」と「わくわく」～

豊川市立東部中学校

2年 学年通信

No. 6

令和7年6月24日

メキメキテストをきっかけに、自分の学びを見直そう

5月2日(金)に第1回、5月30日(金)に第2回のメキメキテストが行われました。みなさん、これまでの取組や成果はどうだったでしょうか。「基礎整理」と「メキメキテスト」の目的は、基礎学力をしっかり身につけること、そしてテストでその定着度を確認し、これまでの勉強の仕方を見直して、より力がつく学習方法を見つけていくことにあります。「魚をもらうのではなく、魚の釣り方を学ぼう」という言葉があります。これは、「誰かに教えてもらうのを待つ」のではなく、「自分でできるようになること」の方が、これからの人生ですっと役に立つ、という意味です。メキメキテストの後には、次回に向けて目標を立てる時間があります。みなさんが立てた目標の中には、「1回だけでなく、2～3回繰り返してやってみる」「なぜ間違えたのか(原因)を書き出してみる」といった勉強のやり方に関することや、「帰宅後すぐに取り組む」「20分間集中して勉強する」「勉強中はスマホを見ない」といった勉強する環境づくりに関することまで、さまざまな工夫が見られました。「今回の学習方法は完璧だった!」と思えることは、そう多くはありません。大切なのは、立てた目標を実際に行動に移せたかどうか、そしてその取組が成果につながったかどうかをふり返り、次にどう生かしていくかを考えることです。メキメキテストをきっかけに、自分に合った学習方法をこれからも少しずつ見つけていきましょう。 第3回…7月2日(水) 第4回…7月16日(水)



クラスマッチを通して学んだこと

5月30日(金)、保健体育科のバレーボールの学習のまとめとして、クラスマッチが行われました。どの学級も優勝をめざして、白熱したプレーが繰り広げられました。また、自分のクラスを一生懸命に応援する姿もたくさん見られ、とても印象的でした。そんな中でも特に心に残ったのは、スポーツマンシップに基づいた行動の数々です。たとえば、ミスをしてしまった仲間に対して、「どんまい!次も来るかもしれないから頼むよ!」と励ましの声をかける姿がありました。微妙な判定があっても、感情的にならずに冷静にプレーを続ける姿も見られました。さらに、アタックで相手にボールが当たってしまったときには、わざわざ相手コートまで行って「ごめんね」と声をかけるなど、相手を思いやる気持ちが伝わってきました。勝負の場では、誰しも「勝ちたい」という気持ちがあると思います。しかし、「勝てば何をしてもいい」ではありません。どう勝つか、どう戦うか、そこに大切な学びがあります。保健体育科の松下先生からは、「試合は相手がいってこそ成り立つもの」というお話がありました。「ノーサイドの精神」すなわち「試合が終われば、敵も味方もなく、互いをたたえ合う心を大切にしよう」というメッセージです。全員が楽しめて、やってよかったと思える行事にしていくことが、学年目標の「安心」と「わくわく」につながっていきます。今回の学びをこれからの活動に生かしていきましょう。

